

管理ポータル操作ガイド（Agentic AI for Search編） はじめに

※ベクトル検索をAgentic AI for Searchで実施する場合、2025/6/30以降はAgentic AI 管理ポータル操作ガイド（Tool設定編）のElasticsearchToolを参照ください。

本書は、本サービスのシステム管理者が利用する管理ポータルを利用方法について記載したガイドです。

本書の対象読者は以下を想定しています。

- 本サービスを利用する、お客様のシステム管理者
- 本サービスを利用する、システムの運用構築を支援するSI担当者

本ページの記載内容

本ページでは以下の機能について説明します。

- ベクトル検索ツール用インデックスの作成

ベクトル検索ツールとは

Agentic AI for Search機能はユーザのリクエスト(プロンプト)を解釈し、単独でLLMでの推論を行うか、ベクトル検索を行いRAGを実施するかを判断します。ベクトル検索ツールはAgentic AI for SearchがRAG実施を実施する際に利用されるツールです。

ベクトル検索ツール内では、利用するインデックスの検索およびベクトル検索の実施、ベクトル検索の結果を利用したRAGの処理を行います。

管理ポータルでは、Agentic AI for Search機能のベクトル検索ツールを適切に利用選択させるために必要な情報の設定を行います。Agentic AI for Searchが参照するインデックスの説明を設定することで、実行精度を高めることができます。

ベクトル検索ツール用インデックスの作成

ベクトル検索ツールを利用する場合は以下の規則に従って事前にベクトル検索ツール用インデックスを作成する必要があります。

インデックスの作成方法は「管理ポータル操作ガイド（インデックス・文書管理編）」を参照してください。

項目	値	内容
----	---	----

インデックス名	index-usage	ベクトル検索ツール用インデックスとしてインデックス名は「index-usage」を入力します。 既に「index-usage」のインデックスが存在し、文書が登録されている場合、文書を全て削除し、他のインデックスに登録して下さい。
所属グループ選択	ALL_USERS_GROUP	「ALL_USERS_GROUP」を選択します。
インデックスの説明	任意の文字列	「index-usage」以外のインデックスにどのような文書が登録されているかを表す文言をインデックスの説明として入力します。 最大300文字程度までを推奨します。 例) 「情報の一元管理と利便性の向上を目指すために事業計画書、契約書類、製品マニュアル、営業資料、マーケティング資料、業務フロー手順書、研修資料、社内報告書、会議議事録、知的財産関連書類など各種文書を格納したインデックス」

注意

- ベクトル検索ツール用インデックスに文書が登録されていても問題はありませんが、原則として文書を登録しない運用をして下さい。
- ベクトル検索ツールを利用する場合のインデックスの数はベクトル検索ツール用インデックスを除いて10以下が目安となります。それを越えたインデックスが存在しても問題はありませんが、ベクトル検索ツールの検索や回答精度が落ちる可能性があります。